

# 航友会だより

発行／中日本航空専門学校航友会事務局

〒501-3924 岐阜県関市迫間1577 中日本航空専門学校内 ☎(0575)24-2521 FAX(0575)22-9816



## 平成9年度 会計決算報告

収入の部	
項目	金額(円)
前年度繰越し金	19,138,915
会費(351名)	1,755,000
名簿売上(1名)	3,000
預金利息 (大垣共立、普通、定期)	38,042
合計	20,934,957

  

支出の部	
項目	金額(円)
同期生名簿作成費 (H10年3月卒学生分)	184,044
会報作成費(第9号)	758,898
支部等援助費 (ラグビー部OB会)	150,000
会議費 (定例役員会、代議員会)	144,820
事業運営費 (監査依頼、慰労会補助等)	199,154
卒業記念品費 (H10年3月卒学生)	380,730
通信費 (役員会、代議員会郵送代)	4,660
雑費(ファイル代、他)	359
小計	1,822,665
次年度繰越し金	19,112,292
合計	20,934,957

## 平成10年度

代議員会開催	1
沖縄支部だより	2
親睦会	2
航友会副会長挨拶	2
卒業生より	3
部活動紹介	4
通信欄	4
編集後記	4

## 平成10年度代議員会開催

30周年記念行事について  
いよいよ来年、西暦二〇〇〇年には  
母校が創立30周年を迎えます。

現在、学内では30周年記念事業の一

### 平成10年度事業計画・予算

平成10年10月24日㈯、愛知県犬山市の「迎帆閣」において、平成10年度の定例代議員会が開催され、22名中16名の代議員が参加し、活発な意見交換が行なわれました。

### 平成9年度事業・会計報告

本年度の事業報告では、沖縄支部について体制を固めるための具体的な準備が進められていることやラグビー部OB会会員数が152名に達したこと

が報告された。

この計画の中でも沖縄支部の件が中心となり、支部としての目的をどこに置くのか、その目的を達成するためにどのような事業を行うのか、またその為の具体的な資金援助・事務処理等、細部にわたる検討が行なわれました。これにより沖縄支部の活動が活発化する可能性があるため、当席上で増額して予算計上することになりました。

その他、航友会の事務処理を行う事務局員の手当を、年間1万2千円とするこ

とも認められました。

当計画に対する会員の皆様のご支援、ご協力を願いします。

価格・購入方法等につきましては、改めてお知らせします。

また航友会としても、30周年記念事業の支援を来年度の事業計画へ盛り込む予定です。

平成11年10月1日

## 航友会だより

沖	縄	支	部
だ	よ	り	

沖縄支部長

安座間 尚人

ある日電話を取るとなつかしい声が聞こえました。中日本航専時代の同期生、安藤君の声だ。今では年賀状を交わすだけの付き合いとなってしまつたが、彼の部屋でライセンス取得を目指し、一緒に勉強したのがついこの間のように思える。(本当は、実家から通っている彼の家で飯にあり付くのが目的だった。)

彼いわく、「沖縄支部の活動を活発にするため、協力してもらいたい。」と言ふ事であった。ほかならぬ彼の頼みでは、断りようもない。

こうして引き受けたものの、私を始め役員もみんな、公私ともに忙しい身、なかなか思うように集まることができません。

とりあえず正式な支部申請と総会をやろうということになりました。

まず困ったことは、活動の場所をどこにするかです。勤め先、喫茶店、居酒屋等いろいろである。呼び掛けの手紙の住所をどうするか。返事のはがきの返信先をどうするか。何か聞きたいときの、問い合わせ先は。活動費の管理、本部事務局との連絡方法は。

いろいろ課題が山積みの中、会則の作成を行い、150名を越す会員への呼びかけの手紙を発送、返事のはがき

ある日電話を取るとなつかしい声が聞こえました。中日本航専時代の同期生、安藤君の声だ。今では年賀状を交わすだけの付き合いとなつてしまつたが、彼の部屋でライセンス取得を目指し、一緒に勉強したのがついこの間のように思える。(本当は、実家から通っている彼の家で飯にあり付くのが目的だった。)

彼いわく、「沖縄支部の活動を活発にするため、協力してもらいたい。」と言ふ事であった。ほかならぬ彼の頼みでは、断りようもない。

こうして引き受けたものの、私を始め役員もみんな、公私ともに忙しい身、なかなか思うように集まることができません。

とりあえず正式な支部申請と総会をやろうということになりました。

まず困ったことは、活動の場所をどこにするかです。勤め先、喫茶店、居酒屋等いろいろである。呼び掛けの手紙の住所をどうするか。返事のはがきの返信先をどうするか。何か聞きたいときの、問い合わせ先は。活動費の管理、本部事務局との連絡方法は。

いろいろ課題が山積みの中、会則の作成を行い、150名を越す会員への呼びかけの手紙を発送、返事のはがき

の回収、まとめと大忙しでした。

でも、うれしいことも多く、声をかけるとみんな快く協力してもらえることです。手紙発送時には、役員以外の仲間に手伝ってもらい、楽しく活動ができました。集まると、学校時代の話となり、社会にでる前の不安と期待に一杯であった学生時代の気持ちに戻るのは私だけではありませんでした。

何とか支部申請の目処もつき、今は総会に向けて「どのようにすれば楽しく、みんなに来てよかつたと思える会にできるか」思案中です。

私の夢は、支部会員・在校生・入学希望者・父母・学校職員そして事務局、みんなで海辺でバーベキューをする事です。

同じ学校というだけで、楽しく過ごせるなんて、なんとすばらしいことだと思います。

うまくいかないことが多いですが、あせらず一步一歩活動を広げていこうと思います。

会員のみなさんも、日々の生活で忙しいために、なかなか活動に参加できないと思いますが、機会があればぜひ顔をだしてください。きっと参加してよかったです。

以上

## 親睦会開催

卒業された皆様へ

航友会副会長

藤井 健一

平成11年1月28日木八尾空港に勤務している卒業生らの初の親睦会が開催されました。

当日は多忙の中、1期から26期卒業

までの38名が集まりました。

親睦会開催の経緯(八尾空港にはメ

ンテナンス会議という航空機検査官・

審査官による技術研修会が年一回開か

れ、この中で中日本航

専OBだけ

で集まつて

みてはどうかという話

が、たびたび出ていた

ので初の試みとして開催しました。

そこで、航友会事務局から関西支部設立の意向

があること及び祝儀をいたいたこと

を披露し、1期生の阪急航空機大間氏

の乾杯音頭で宴会が始まりました。

昔の思い出話、整備技術の交換等で

有意義な時を過ごし親睦が一層深められました。



去る3月19日に卒業式に列席させていただき、沸々と込み上げる感動を再び深く胸に刻むことが出来ました。

私は今から16年前に中日本航空専門学校(CNA)を13期で卒業したのですが、今回の式典に出席させていただけ当时の思い出が甦るとともに、卒業されいく皆様が在校中の2年間で

「何を得ることが出来たのかな?」と

思いながら席上から拝見していました。

おそらく資格を取得した事以外は、

明確な物がない方が多いのではないか

でしょうか? 私も卒業したばかりの時は、そんなことに気が付かなかつたよ

うです。

しかし、これから社会に旅立ち多くの人と接して行く中で、乗り越えなければならぬ様々な環境の変化が目の前に来たとき、CNAで培われた学業

はもとより、同窓生・先輩・後輩そして先生方と交流した2年間が必ず大き

な力になるでしょう。私は卒業して長い月日が経ちますが、公私ともに多く

の同窓生や先輩・後輩に支えられ、先

生方から応援をいただき続けています。

CNAで得た物は資格だけではない

ことが、きっとこれから多くの経験を

される中で明確になつてきます。

卒業と同時に航友会の会員になられた皆様は、すでに卒業されている先輩

方に暖かく迎え入れて頂けたことでしょ  
う。旅立った環境に先輩方がおられた  
方は後輩を暖かく迎え入れてあげて  
下さい。航友会は、卒業生一人一人の  
バイブルとして応援します。

今後、定期的に「航友会だより」が  
届きますが、是非「航友会」を有効に  
活用していただき、同窓生の横の繋がり、  
また先輩やこれから卒業される後輩  
との縦の交流を深めて下さい。  
CNAは来年で30周年を迎えます。  
この機会に航友会をさらに活力ある会

としていきたいので応援して下さること  
を希望します。そして、皆様の役に  
立てる航友会でありたいと願っています。

卒業された皆様、本当におめでとう  
ございます。  
CNA卒業生であることに誇りを持つ  
て今後も社会に大きく貢献していただ  
くことを願います。そして、CNAの  
先生方並びに関係者の方々、ありがとうございました。  
これからも素晴らしい社会人を育てて下さい。

## もう7年経ちました

電子制御科9期生 山下 文彦

私が中日本航空専門学校を優秀な成績で(?)卒業したのは7年前(平成4年)です。つまり現在の勤め先である石川島エフツービス株式会社に入社してからもう7年が経過しております。(特に25歳を過ぎてからは)

私が航専に在学していた頃は勉強はもちろんのこと(やつていない?)"クラブ活動(ラグビー部)等にも取り組んで、航専での短い2年間は大変有意義であったと思っています。

ラグビー部での思い出は数々あります。が二つ挙げますと、試合の日に私が遅刻したので、部室が開けられず(私が部室の鍵を持っていました)、先生が部室の窓ガラスを割つて用具を出してグランドに行つたことがあります。私もギリギリ試合には間に合つたのですが時間が無い為、怒られる間も無く試合に出場し何とか勝つたので、試合後そんなに怒られなかつたことがあつたり、また私は当時、名古屋からの通学生だったため、練習後はよく顧問の先生に(某K先生)名鉄新鶴沼駅まで送つてもらっていましたが、その道中に先生の作詞作曲の歌をよく聞かされ(必聴です!!)「なかなか良いだろ!!」と言わたり、今となっては懐かしい思い

出です。

そんな私の会社での業務内容は、主に宇宙機器の設計・試験支援で、今現在は建設中の国際宇宙ステーションの組立、メンテナンス等での船外活動(宇宙飛行士が宇宙空間に出て行う作業: Extravehicular activity [EVA])と言う)の際、日本側で製作しているモジュール(JEM)の設計に問題等



の無いことを確認する目的で、試験用宇宙服を着用したNASAの宇宙飛行士を評価者として、筑波宇宙センターにある水槽で重力と浮力を釣り合わせて作り出した擬似的な無重量環境状態でJEMのモックアップ(模型)を使い検証を行うという試験の実施計画及び、モックアップの設計、試験実施

平成11年10月1日

# 航友会だより

時のサポートダイバーの支援を行つてあります。(私以外に航専卒業生の中野英雄君もダイバーとして試験に参加しました)

写真は昨年(1998年)の8~10月に実施した「第4回船外活動(EV A)無重量シミュレーション試験」の試験風景です。(今年は12~2月に実施予定)

筑波宇宙センターは一般見学も行っており、日本の宇宙開発についてよく解ると思いますのでこちらの方にお立

ち寄りの際は是非、御覧になつて下さい。

社会人となつて7年間の月日があつと言つ間に過ぎてしまつたが、まだ自分の勉強不足を痛感しており、学生時代にもつとやつときや良かつたと今でも時々思うことがあります。ですから航専時代に頂いた大切な教科書等を日々は聞いて基本的なことについて復習してみようかなと思う今日この頃です。(と思いながら早7年)

## 初の親子学生が誕生

昨年、OBの子弟が入学しました。現在、航空電子制御科2年生の加集亮君、父親は加集茂さん(航空整備科4期生、昭和50年卒業。香港グランドサービス株勤務)開校以来2代つづき、初の親子学生の誕生です。

### 卒業生子女奨学制度が発足

航空整備科1期生には50才を越え、

そのご子息、ご令嬢も18才となつている方々が多數いるのが現状であり、今後益々増えていくことは必然です。

こうした状況



加集茂さん(右)と亮さん(左)

## おくやみ

片山 登氏(航空整備科十期生)は、平成十一年八月二八日病気の為に逝去されました。享年三九歳。冥福をお祈りいたします。

## 惜しくも全国大会第3位 軟式野球部



## 通信欄 同窓会しようよ!

航空整備科22期(平成5年卒)固定翼ライセンスコースのみんな、お元気ですか?卒業してはや6年が過ぎ、それぞれに、各方面で、活躍していると思います。  
なかなか実現できなかつた同窓会を今年こそ、実現させましょう! 今秋/冬開催予定です。連絡下さい。

連絡先:CNA 鈴村・井上

### 送つてください

原稿・情報等は常時募集中しています。

郵送・TEL・FAX

E-mailにてご連絡下さい。

御協力いただいた方に  
は、図書券を進呈してお  
ります。

### 編集後記

航友会だより第10号は  
いかがでしたか?学内は

30周年を目前にし、にわかに活気付き始めていました。

最後に本誌発行に協力頂いたみなさま、ありがとうございました。